

広報 a public relations magazine
A · G · U · I

あぐい



阿久比町
マスコットキャラクター **アグピー**

9 September
9月1日号

暮らしの情報誌

2010

No.1013

毎月1日・15日発行

主な内容

②～③ 防災特集

いざというときの備えは万全ですか。家族で非常持ち出し品のチェックを。

④ 阿久比谷虫供養

9月23日草木地区の公民館前で県指定無形民俗文化財「知多の虫供養行事」が行われます。

⑥～⑦ まちの話題

ふれあい盆踊り、ビーチボールバレー、子どもたちの活躍を紹介。

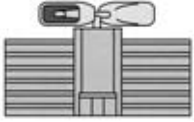
⑪ あぐいぶらり旅

宮津熱田社常舞台の力神を見る。筋肉隆々の姿は……。



“絵手紙書けたよ”

8月19日、教育委員会が催したサマーチャレンジスクール「絵手紙をおくろう」が行われ、小中学生34人が絵手紙作りに取り組みました。野菜や果物を見ながら墨を付けた筆で輪郭を整え、絵の具で色を塗り、メッセージを書いて作品を仕上げました。絵手紙は宅老所に通うお年寄りに送られます。



行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は
☎(48)7030 へ問い合わせてください。最新
のメッセージを聞くことができます。

災害に強い町を目指し 「自助」・「共助」の精神で

防災への意識改革

141

安全で住みよいまちづくり

ニュース

防災交通課
☎(48)111
(内208)



要援護者名簿や対策マニュアル作成のため意見交換を行う皆さん

災害に強い阿久比町を目指すことを目的に、町防災訓練を八月二十二日、午前七時から阿久比中学校グラウンド西の多目的広場と同中学校アザレアホールで行いました。各地区の自主防災会、町赤十字奉仕団員、防災ボランティアあぐいな

ど総勢約六百人の参加がありました。訓練は発生が予想されている東海地震・東南海地震が連動して発生し、町内で多くの死傷者と被害が生じた想定。地区ごとに四班に分けて、地区防災倉庫に配備されている防災資機材を取り扱う訓練や、けが人を手当てする救護訓練などを順番に行っていました。また、炊き出し、要援護者対策、災害救援ボランティアセンター運営訓練も実施しました。今年度、地区に合った「要援護者対策マニュアル」の完成を目指しています。要援護者対策訓練では、自主防災会長、防災委員、民生児童委員の皆さんがこれまでの取り組みや



救出訓練

問題点など意見交換を行いました。災害が発生した場合、町や消防の機関による「公助」だけでは限界があります。自分の身は自分で守るために、一人一人の「自助」や、自主防災会、隣近所の皆さんで協力し合う「共助」が大変重要です。訓練は対策マニュアル作成に向けて真剣な話し合いの場となりました。参加者は、お互いに協力し合い、コミュニケーションを図りながら、それぞれの訓練に取り組んでいきました。自主防災会では、「自助」「共助」の考え方が広まっています。皆さん積極的に自分が住んでいる地区の自主防災会に参加するなどして、防災意識を高めて、いざというときに備えてください。



自主防災会で協力して土のう造り

非常持出品をチェックしてください!

いざというときに持ち出せるように
日ごろから準備・点検をしてください



1次持ち出し品 家族がそれぞれ持っている便利です。

災害後の3日間の食料・水は用意しましょう

非常食(3日分)

カンパン、缶詰、飲料水
(1人1日3リットル) 栄養補助食品



救急用品

ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、常備薬(消毒薬、解熱剤、風邪薬など)、綿棒、カミソリ、安全ピン、体温計

貴重品

現金(小銭も必要)、カード類、預金通帳や
有価証券の写し、印鑑、身分証明の写し
(健康保険証や運転免許証など)



衣類

下着、上着、雨具、防災頭巾や帽子、運動靴、軍手、マスク

日用品

洗面用具、タオル、缶切り、マスク、生理用品、
紙オムツ、ほ乳びん、大きなゴミ袋、ティッシュ、
ウエットティッシュ、トイレトペーパー、筆記用具、
メモ帳、せっけん、ちり紙、歯ブラシ



高齢者・障害者

障害者手帳、障害者医療費受給者証、補聴器

その他

ナイフ、携帯ラジオ、懐中電灯、予備の
電池(多めに)、マッチ、ライター、非常
用ローソク、予備のメガネ、笛(家屋の
下敷きになった場合など、居場所を知ら
せるため)



2次持ち出し品 避難所生活に役立つ物です。

非常食

レトルト食品、インスタントラーメン、調味料、
乾物(乾麺・海藻類)



燃料

卓上コンロ、ガスボンベ(1本で約2時間)

衣類

下着、上着、くつ下



日用品

毛布、寝袋、バスタオル、鍋、やかん、
簡易食器(割り箸、紙コップなど)、
包装用ラップ、ガムテープ、裁縫セット、使い捨てカイロ

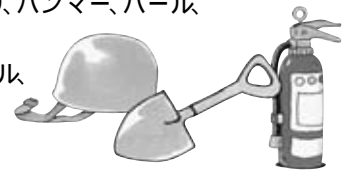
その他

ロープ
ふた付ポリバケツ(水の保管用)
キャリアカート(重いものを運ぶ時)
自転車



避難、救助用にあると便利なもの

消火器、バケツ、のこぎり、ハンマー、バール、
ジャッキ、ヘルメット、
ビニールシート、段ボール、
スコップ、はしご



避難の心得

- 1 火元を確認しガスメーターの元栓(プロパンは容器バルブも)を閉め、電気のブレーカーをOFFに
- 2 ヘルメットや防災頭巾で頭を保護
- 3 持ち物は最小限にまとめ、身軽に
- 4 外出中の家族には連絡メモを残す、避難場所を決めておく

- 5 避難は徒歩でお年寄りや子供の手をしっかりと握って
- 6 近所の人たちと指示された避難場所に
- 7 狭い道、塀のそば、川べりを避けて移動
- 8 正しい情報を得るために携帯ラジオを必携
- 9 あいまいな情報やデマに惑わされないよう冷静に

時を越え、受け継がれる“伝統行事”

阿久比谷虫供養

知多の虫供養行事（愛知県指定無形民俗文化財）
今年は草木地区で開催されます

日時

9月23日(木・祝)
午前8時～午後4時

場所

草木公民館

阿久比谷虫供養スケジュール

午前8時	開始
午後0時30分	離子奉納
午後1時	百万遍念仏開始
午後3時10分	離子奉納
午後4時	次回開催地区への引き継ぎ終了



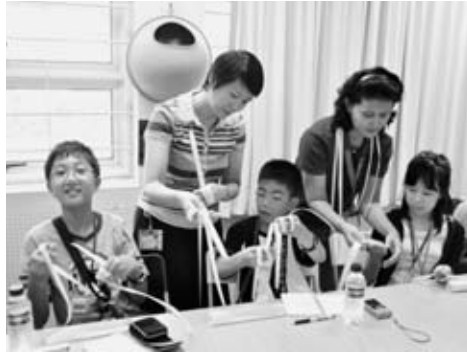
虫供養は米作りや野菜作りで犠牲になった田畑の虫を供養するために念仏を行ったことが始まりとされ、融通念仏の始祖 良忍上人（1072～1132）により広められ平安時代終わりごろから阿久比でも行われるようになった民俗信仰行事です。

現在 阿久比谷虫供養は町内13地区の持ち回りで当番を受け持ち、当番地区では前年の虫供養で引き継ぎを受けてから寒干しや土用干しなどの数々の行事を1年かけて行い、虫供養当日を迎えます。

行事当日は導師の先導で同行衆による念仏が唱和され、道場や小屋にはそれぞれ掛け軸がまつられます。また、会場内に建てられた大塔婆おとうぼの下おとの砂山を幼児に踏ませると「かんの虫封じ」になると伝えられています。

永い歴史があり、戦乱に巻き込まれ中断もありましたが、根強くよみがえった虫供養は、まさしく町の誇る伝統行事です。会場に足を運びご覧ください。

小学生海外派遣事業 派遣児童15人無事帰国



7月26日にセントレアを出発した小学生海外派遣団が、7月31日に無事帰国しました。派遣団は、町内の小学6年生15人で、阿久比町の代表としてシンガポールのフェンシャン小学校との交流を深め、外国を見聞してきました。

フェンシャン小学校とは平成20年度から派遣を通じた交流を始め、今年度からはフェンシャン小学校の児童10人を5月に迎え、双方の交流を始めました。昨年度は、新型インフルエンザの影響で、事業の実施を断念せざるを得ない状況となり、残念な結果となりましたが、今年度は派遣、受け入れとも無事終了することができました。

子どもたちは、海外の学校の授業を受けたり、シンガポールの家庭にホームステイをしたりして、異文化を体験しました。味覚の違いに戸惑ったこともあったようですが、先方の心温まる歓迎や、受け入れの際に親しくなったフェンシャン小学校児童との再会で、笑顔あふれる一週間となりました。

帰国した児童は、9月21日の報告会に向けて、シンガポールで学んできたことをまとめています。2学期が始まると、各学校でシンガポールの様子や交流の内容を友達に伝えていきます。海外派遣を経験した児童が、国際感覚豊かな大人となり、阿久比町をリードしていくことを期待します。



保護者に話しをする宍戸教授

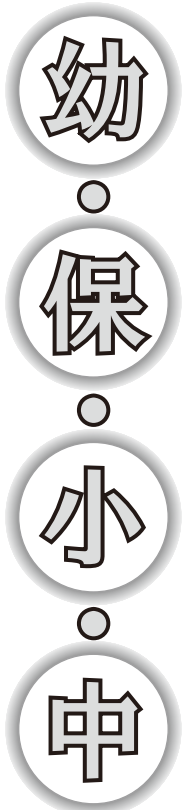
子どもに絵本の読み聞かせを

7月30日教育相談センターで、講師に宍戸洋子名古屋短期大学保育科教授を迎え、町内の保護者を対象とした研修会を行いました。

「輝く目をもつ子どもを育てたい」と題して、宍戸教授はゲームやテレビの害について強調された後、絵本の読み聞かせの重要性を力説しました。幼稚園の教諭、園長として長年勤めた経験から、同じ絵本を繰り返し読み聞かせる中で、子どもが目を輝かせて話に聞き入り、絵を見ながらさまざまな発見をする様子を話してくれました。

全国へ発信 72

一貫教育プロジェクト



今回の海外派遣の様子は、現地からブログにアップされています。各小学校・学校教育課のホームページにある以下のボタンからご覧いただけます。携帯電話でご覧になりたい方は、QRコードをご利用ください。

★平成22年度
阿久比町小学生
海外派遣事業

～まちの話題～



踊りを楽しむ子どもたち

やぐらの周りには、浴衣を着た老若男女が輪となり、威勢のいい太鼓の音に合わせて『阿久比音頭』や『オアシス音頭』などを踊り、多くの町民がふれあいました。

また、小中学生38人がボランティアでうちわを配ったり、和太鼓演奏団体「歩童」のメンバーが太鼓や笛を演奏したりして会場を盛り上げていました。

ふれあい盆踊り

8月16日、「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」（町文化協会の主催）が役場前駐車場で開かれました。

地区での盆踊りを終えて、今年最後となる盆踊りを楽しもうと会場には約3,500人が集まりました。



和太鼓を演奏する「歩童」のメンバー

ビーチボールバレー、親子で大熱戦



ビーチボールで熱戦を繰り広げる親子

親子ビーチボールバレー決勝大会が8月21日、英比小学校体育館で行われました。

町内4つの小学校地区で予選を行い、決勝大会では勝ち進んだ12チームが出場。コートでは熱戦が繰り広げられ、「山田カプチーノ」チームが見事優勝に輝きました。優勝した親子は「たくさん練習した成果が出ました。とてもうれしい」と、汗をタオルでふきながら笑顔で話していました。

大会結果は次の通りです。

優勝 山田カプチーノチーム、準優勝 山田パワーズチーム、3位 高根台Aチーム・山田プリティーマスルチーム

名古屋市小学生が農家生活を体験



ビオトープで生き物調査を行う子どもたち

農地・水・環境保全向上対策事業の一環で組織された「草木みどりサミット」が、8月3日と4日の二日間名古屋市の御園小学校6年生を招き、子どもたちに農家の生活体験をさせました。

草木地区を訪れた11人の児童は、草木小学校の6年生とも交流を図りました。水田の一角に設けられたビオトープではザリガニを釣ったり、メダカを網ですくったりして、生き物調査を行いました。

そのほかにもサツマイモなどの収穫体験や農家への宿泊など、都会の子どもたちは夏休みに、貴重な体験ができたようでした。

オアシススケッチ

もちの木園生と阿高生が水泳で交流



高校生と歩行訓練を行うもちの木園生

8月10日、町営プールで阿久比高校水泳部員の指導のもと、授産所「もちの木園」の園生が水泳訓練を行いました。

もちの木園では、体力維持と水に対する恐怖心をなくすことを目的に訓練を実施し、毎年阿久比高校の水泳部員などがボランティアで訓練の手伝いをしています。

園生は高校生と手をつないでプールの中を歩いたり、バタ足を教わったりしました。

竹田周平水泳部キャプテンは「水泳を通じて皆さんと毎年交流ができてうれしい」と話していました。

夏休みに子ども会が認知症を学ぶ



認知症サポーター養成講座を受ける卯之山子ども会

8月4日、卯ノ山児童館で「卯之山子ども会」の子どもと保護者を対象に認知症サポーター養成講座を開きました。認知症を正しく理解してもらおうと、夏休みを利用して町地域包括支援センターが企画。この日は、35人の子どもと10人の保護者が参加しました。

支援センターでは「認知症になった人を助けるには、家族や地域で見守ることが大切です」と子どもや保護者に呼び掛けました。講座を受けた参加者は「認知症サポーター」となり、認知症を応援する証として「オレンジリング」を受け取りました。

2年連続全国大会に出場



町長に出場報告をした木村さん

とびうお杯第25回全国少年少女水泳競技大会（8月7日・8日浜松市で開催）に出場する木村莉緒さん（南部小5年）が、8月3日出場報告に町長室を訪れました。

昨年に続き2年連続で大会に出場する木村さんは50・100・200メートル自由形とメドレー・フリーレーの5種目に出場します。

「決勝進出が目標です」と町長に健闘を誓っていました。

礼儀作法を学びたい



町長と歓談するパニラさん

デンマークから阿久比ライオンズクラブの交換留学生として、阿久比町に滞在（8月3日～8月9日田中清高ホストファミリー宅）したパニラ・ボンダ・クリステンセンさん（18歳・高校生）が8月3日、町長を表敬訪問しました。

将来の夢はジャーナリストというパニラさん。「ヨーロッパを離れて、異国の文化を勉強したかった。日本では『礼儀作法』を学びたい」と笑顔で話していました。

Good Life はあなたのチャレンジ精神で!



平成22年度第三期 生きがい教室・講座開講

「いつでも、どこでも、だれでも」を目標に町民の皆さんの生涯学習を支援する教室・講座を開講します。年四回皆さんにお知らせします。今回はその第三回目です。
気軽に応募ください。

エクセルステップアップ(関数)

期間 十月四日(月)、六日(水)、八日(金)全三回
時間 午後四時～午後六時
会場 阿久比中学校
対象 一般
定員 二十人
受講料など 二千六百円程度
内容 エクセルをもう少し活用したい方のための関数の学習を中心とした教室。初級のエクセルができる方対象。
講師 近藤恵子

年賀状を作ろう

期間 十一月二十四日(水)～十二月三日(金)全四回
時間 午後四時～午後六時
会場 阿久比中学校
対象 一般

パッチワークキルト教室

定員 三十人
受講料など 千円程度
内容 ワードで干支の絵を取り入れながら、年賀状を楽しく作ります。(文字入力のできる方対象)
講師 近藤恵子

期間 十月一日(金)～十二月十日(金)全六回
時間 午後一時半～午後三時半
会場 中央公民館
対象 一般
定員 十五人
受講料など 三千円程度
内容 マイレのミニバック(ハワイアンキルト)を作ります。
講師 太田佳子

パパと作ろう「そば打ち体験」

期間 十一月二十八日(日)・十二月五日(日)各一回
時間 午前十時～午後一時
会場 中央公民館
対象 親子
定員 各十二組
受講料など 九百円程度
内容 親子でそば打ちにチャレンジします。
講師 阿久比メンズクラブ

俳句教室

期間 十月五日(火)～十一月九日(火)全五回

親子染色教室

期間 十月九日(土)
時間 午後一時半～午後三時半
会場 中央公民館
対象 親子
定員 二十五組
受講料など 一組 二百円
内容 親子で染色を体験し、日本手ぬぐいを作ります。
講師 あぐいぐらしの会

十一月九日(火)はマイクロボスで吟行へ出掛けます。
時間 午後一時半～午後三時
吟行は午前九時～午後四時
会場 中央公民館ほか
対象 一般
定員 十五人
受講料など 吟行時の食事代程度
内容 上品な「言葉」文化を習って俳句を一句作りませんか。
講師 文化協会苗代句会
岡戸隆明

シニアチャレンジスクール

期間 十月十五日(金)
時間 午前九時～午後四時
会場 清須城・はるひ美術館・ツインアーチ138
対象 一般(六十五歳以上)
定員 二十五人
受講料など 入場料・食事代(千九百円程度)
内容 文化施設や美術館を一日見学して教養を高めます。

＊生きがいの教室・講座申し込み＊

申込資格 町内在住・在勤・在学している方

申込期限 9月15日(水)

申し込み方法

電話(平日午前9時～午後5時) F A X、メール、公民館窓口で申し込んでください。

定員を超えた場合は初めての方を優先し、抽選により決定させていただきます。申し込みが十人未満の場合や講師の都合により、中止や変更などもありますのでご了承ください。

問い合わせ先 社会教育課公民館係

☎(48)1111(内260) F A X(48)6229

メールアドレス shakyo@town.agui.lg.jp

聞かえてみますか 子どものことは受けとめよう 子どものこころ

期間 一月十二日(水)～二月九日(水)全五回

時間 午前十時～午前十一時半

会場 中央公民館

対象 一般

定員 十五人

受講料など 五百円

内容 口数が少なくなってきた子どもとのコミュニケーション術「傾聴」を学びます。NPOコアアカウンセリング支援協会 榊原芳子、愛知教育カウンセリング研究会 沢里義博

講師

幼稚園ウィーク 園を公開します

“幼稚園へ遊びに行こう”



ほくぶ幼稚園では、一人一人の個性を大切にしながら、友達や周りの人と接する中で、思いやりの心を育てています。園を公開する「幼稚園ウィーク」に、子どもたちの生活や遊びを見てください。

幼稚園ウィーク 9月27日(月)～29日(水)

午前9時30分～正午

幼稚園説明会 9月28日(火) 午前9時30分～

自由見学 午前9時30分～

説明会 午前11時～午前11時20分

駐車場は阿久比スポーツ村第2駐車場を利用してください。

問い合わせ先 町立ほくぶ幼稚園 ☎(48)6605

板山高根湿地「自然観察会」参加者を募集

板山地区にある板山高根湿地は珍しい昆虫や貴重な植物が生息・生育する、知多半島でも貴重な自然環境が残っています。

普段は一般公開を行っていませんが、講座板山高根湿地「自然観察会」を開催し、限定的な公開を実施します。

各回、専門の先生による解説付きですので、どなたでも楽しむことができます。

テーマ「絶滅危惧 類！シラタマホシクサを観察しよう」

日時 9月21日(火) 午前9時～午前11時

9月27日(月) 午前9時～午前11時

対象 興味のある方

定員 各回25人

(定員を超える場合は抽選とします。ご了承ください)

場所 各回とも中央公民館本館1階103号室集合(マイクロバスで現地まで移動します。)

参加費 250円(受講料200円 保険料50円)

募集期間 9月1日(水)～9月13日(月)

申し込み・問い合わせ先 社会教育課社会教育係 ☎(48)1111(内262) FAX(48)6229

電話での申し込みは平日の午前9時～午後5時



シラタマホシクサ

金平糖菓子に似ていることから「コンペイトウグサ」とも呼ばれています。

みんなの童話

縁日のふうりん



飾ってあるばあちゃんの写真をし
ばらく見つめた。

「ばあさんは、ふうりんのリーン
となる音が好きだった」

軒につるされたふうりんを見て
じいちゃん目が、うるんでいた。

よしおが縁側にもどると、庭に
まいた水にさそわれて、すず風が
吹いてきた。風は、ふうりんをゆ
らしてリーン・リーンとすんだ音
を鳴らした。

「もうすぐばあさんにあえるぞ」

「えっ、あえるって」

「ああ、いますずしい風がふいた
じやる。『もうすぐ秋がきます
よ』ってな」

じいちゃんは、ばあちゃんみた
いな声と言いだ言った。

「へえー、ばあちゃんが風で話を
するの」

「ふうりんの音を聞くと。よし
おにも言ったぞ。『彼岸にはあいに
行きます』と。聞こえんかったか」

じいちゃんには、ばあちゃんの
声が聞こえるらしい。

よしおは、じいちゃんが好き
だった。いろいろなことを教えて

くれる。きょうも話したいことが
あった。でも、なかなか言い出せ
なかつた。だから、じいちゃんや
ばあちゃんのことを聞いた。

「あのさ、じいちゃん」

よしおが、もじもじしながら言
い出した。

「友だちはいた」

「なにをして遊んだ」

「けんだまつてなあに」

「コマまわせる」

「野球はしたの」

よしおは、矢つぎばやに聞いた。

「はっはっはっ、よしおはなんで
も聞いてくるな」

じいちゃんが、声だかに笑った。

「けんかはしたの」

「仲直りってどうしたらいい」

よしおの質問が続く。

「どうした。友だちとけんかした
んか」

よしおは、ちよつと言葉をつま
らせて下を向いた。

「だって・・・」

ますます小さい声になった。

「そうか、そうだったか」

じいちゃんは、よしおの頭をな
げた。そしてゆっくり話した。

「よしおのいいところはな
うん」

「なんでも自分のことばで言うこと
じゃ」

「じぶんのことば」

「ああ、自分でよくかんがえて言
うじやる。ばあさんもそうだった」

「だってぼくが言うんだもの」

「そこがいいんじや、そこんとこ
がな。ばあさんに似るとる」

よしおはわかつたようなわから
んような気持ちでいた。

「はっはっ。もう一度自分のこと
ばで、その子に話してごらん」

じいちゃんは、もう一度よしお
の頭をこしこしなせた。

リーン・リーン

夕がた吹くすず風が、ふうりん
のすんだ音をひびかせた。そこに
鳴き虫の音が重なりあつた。

リリー・リーン

「ほほっ、すず虫が鳴き出したわ
い。きれいな音を出すなあ」

と、庭に下りたおじいちゃんがよ
しおを呼んだ。

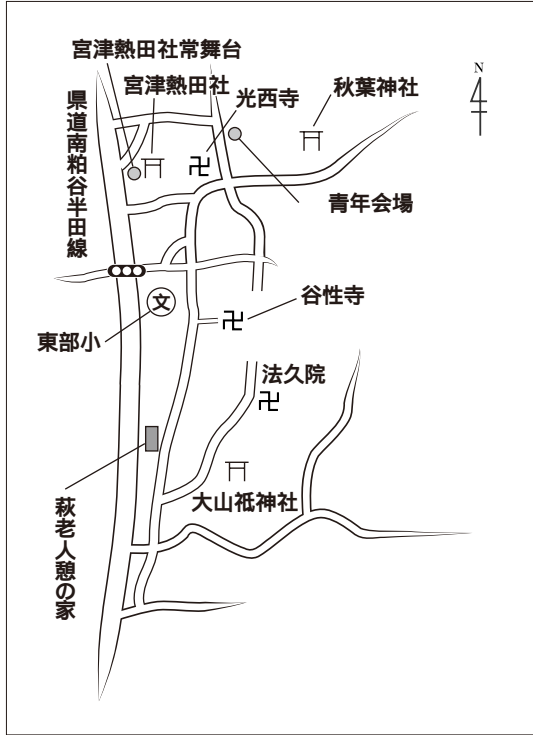
「ぼくには、すず虫の声は、ふう
りんの音にも似ているって思う」

よしおは、夕焼け空をあおぎ見
て言った。軒では夏まつりの縁日
で買ったふうりんが、しずかにゆ
れた。

しろやま会員 かど まさこ

シリーズ

阿久比を歩く ⑬



境内を見守る“力神”

宮津地区熱田社は、盆踊りの準備で人の動きがせわしい。暑さ厳しくセミの鳴き声も騒がしい。そんなにぎやかな状況を、常舞台正面上部に取り付けられた一對の「力神」が見守る。
木造瓦葺入母屋造の常舞台は、弘化四（一八四七）年熱田社境内に造営され、原型を残す。昭和三十年ころまで村芝居が盛んに行われ、多くの人々が観劇をした場所。力神も弘

あぐいぶらり旅 建造物を見る（宮津熱田社） 常舞台力神

宮津地区熱田社は、盆踊りの準備で人の動きがせわしい。暑さ厳しくセミの鳴き声も騒がしい。そんなにぎやかな状況を、常舞台正面上部に取り付けられた一對の「力神」が見守る。
木造瓦葺入母屋造の常舞台は、弘化四（一八四七）年熱田社境内に造営され、原型を残す。昭和三十年ころまで村芝居が盛んに行われ、多くの人々が観劇をした場所。力神も弘
化四年に作られ「寄木彫」であると記録に残るが、製作者は不明。
二体の「力神」彫刻が建具に腰を下ろす。眼光鋭く、筋肉隆々。前かがみになり、常舞台の梁を片腕で、下から力強く持ち上げるような姿勢を勇ましい。
「僕は『キン肉マン』のマンガが大好きなんですけど、力神はどこことなく似ているところがありますよね好きになりそうです」と、友人が物を持ち上げるようなポーズを取り「力神」の真似をする。見るからに貧弱だ。そのポーズキン肉マンと力神に失礼だよ」と私が返す。
力神彫刻は、知多地方の山車や神社の山門や本殿に施される。寺の山門で、仁王像や金剛力士像が門番をするように、「力神」は「神」が関わる場所の見張り役のようだ。
境内で作業をする長老たちに力神について尋ねる。
「常舞台と力神の組み合わせは今までに見たことがない。なんであの場所にあるかは知らない。顔が取



顔の取り外しを試みる男性

り外せると思ったで、中に何か書いてあるかも知れん。一回見てみるか」
男性が準備の手を休めてくれ、フォークリフトの荷台に乗り、顔の取り外しを試みてくれた。しかし簡単には取れない。貴重な彫刻を傷つけてはいけないので、確認はあきらめることにした。
「我々、長く宮津に住む者も知らんことばかりだよ。何か古い記録が出てきたら、また教えてあげるわ」と長老らが笑う。
製作者は誰なのか。常舞台と力神の関係。多くの謎が残る。本当のことは「力神」のみぞ知る。
「そう言えば、力神のぶくつとしてたところ、生後二カ月の息子にも似ています」。「将来はキン肉マンにさせたらどう」。……。

お知らせ

阿久比町次世代育成支援行動計画の進展状況を公表します

安心して子どもを生み、子育てしやすい環境をつくるために、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が成立し、社会が一丸となって、次世代の育成を支援していく施策を進めています。

町でも、平成17年3月に「阿久比町次世代育成支援行動計画」を策定し、一人でも多くの方が子育てに伴う喜びが実感できるよう支援するための取り組みを行っています。

基本理念

阿久比町に住むすべての子どもが次代の担い手として、心身ともに健康で安心と自信を持って暮らし、子どもらが輝きながら生きる力を育むとともに、全ての家庭が安心して子どもを育てることができるような環境づくりを目指します。

子どもが健康で輝きながら育つまち 阿久比

施策の基本的な方向性

- ・ 地域における子育ての支援
- ・ 子どもの心身の健やかな成長に役立つ教育環境の整備
- ・ 職業生活と家庭生活との両立の推進
- ・ 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
- ・ 母性、乳幼児などの健康の確保と増進
- ・ 子育てを支援する生活環境の整備
- ・ 子どもなどの安全確保

計画の期間

・ 平成17年度から平成21年度までの5年間を前期計画とし、平成22年度から平成26年度までを後期計画とします。後期計画については、前期計画の中間評価などを踏まえ平成21年度中に策定しました。

主な施策の目標値と進展状況

主な施策の目標値と進展状況は阿久比町ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.town.agui.lg.jp/ka/jumin/jisedaieikakudai4shouh21.pdf>

問い合わせ先 住民福祉課 ☎(48)111(内301)

環境衛生週間に関するポスターを展示

九月二十四日「清掃の日」から十月一日「浄化槽の日」までの「環境衛生週間」の一環として、東部知多衛生組合管内（大府市、豊明市、東浦町、阿久比町）の小学四年生から寄せられたポスター（優秀作品）を展示します。

展示場所 東部知多温水プール2階ロビー（大府市大東町2-96）
展示期間 九月十八日（土）～十月十七日（日）

問い合わせ先 東部知多クリーンセンター ☎0562(46)8855

イベント参加者を募集

知多4Hクラブ連絡協議会主催で、知多農業のPRと女性との交流を兼ねたイベントを実施します。

日時 十月九日（土） 午前十一時～午後四時半

場所 ジョイフルファーム鶴の池（美浜町）名鉄上野間駅まで送迎あり。

参加費 二千円

参加資格 十八歳～三十二歳からの独身女性

定員 二十人（先着順）

申込期限 十月一日（金）

申込先 知多農林水産事務所農業改良普及課

四人制ビーチボールバレー教室を開催

問い合わせ先 ☎(21)8111 (内282)

日時・場所

回	日にち	時間	場所
1	10月8日（金）	午後7時30分～午後9時30分	英比小学校 体育館
2	10月14日（木）	午後7時30分～午後9時30分	草木小学校 体育館
3	10月19日（火）	午後7時30分～午後9時30分	南部小学校 体育館
4	10月25日（月）	午後7時30分～午後9時30分	東部小学校 体育館
5	10月31日（日）	午後1時30分～午後3時30分	草木小学校 体育館

対象 一般 定員 四十人

受講料 千円

内容 技術とルールを習得し、ビーチボールバレーの楽しさを体験します。

講師 阿久比町ビーチボールバレー協会

申込期限 九月二十一日（火）

申し込み・問い合わせ先

社会教育課体育係 ☎(48)1111

1（内262・280）

アクティブあぐい ☎090(66

17)9101

9月9日は、救命の日 救急医療週間 9月5日(日)～11日(土) 「大切な命のために」

考えてください。適正利用

知多中部広域事務組合消防本部管内の平成21年中の救急出動件数は7,880件で、1日平均22件出動したことになります。

例えば、心臓停止してから3分間何もしないと死亡率が約50%になります。このことは、緊急事態が重大であるほど早く適切な応急手当をしなければ、死亡者が増加することを意味しています。

救急車は、けがや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならない方のためのものです。緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事故が発生した場合、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れることで、救える命が救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。病気や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうがよいと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。

覚えてください。応急手当

自分の目の前で大切な方が倒れてしまったら、あなたはどのようにしますか？

応急手当を知っていれば、大切な方を救うことができるかもしれません。現場に居合わせた「あなた」が勇気を持って応急手当を実施することが非常に重要です。

知多中部広域事務組合消防本部では、定期的に「救命講習」を開催しています。ご参加ください。

問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部 半田消防署阿久比支署 ☎(47)0119

普通救命講習を開催

救命のための応急手当やAED(自動体外式除細動器)の使い方の講習を行います。

日時・場所・定員

・十月十一日(月)

午前九時～正午

阿久比町中央公民館本館 定員二

十人(先着順)

・十月二十日(水) 午後一時半～午

後四時半 半田消防署北部出張所

定員二十人(先着順)

申し込み・問い合わせ先

阿久比支署 ☎(47)0119

北部出張所 ☎(28)5119

HP <http://www.cac.net.ne.jp/>

chitachu/

危険物取扱者試験予備講習会、保安講習を開催

危険物取扱者試験

試験日など

第四回試験

十月十日(日)

一般対象 乙種第一～六類・丙種

受付期間 九月六日～十五日

第五回試験

十月三十一日(日)

一般対象 乙種第四類・丙種

受付期間 九月六日～十五日

試験会場 名古屋市内

試験手数料 乙種 三千四百円、

丙種 二千七百元

問い合わせ先 消防試験研究センター ☎052(962)1503

知多中部広域事務組合消防本部予

防課 ☎(21)1491

第三回危険物取扱者試験予備講習会

講習日時 九月二十二日(水)

午前九時半～午後四時半

講習会場 常滑市鬼崎公民館

講習内容 乙種第四類対象

受付期限 九月二十一日まで

講習費など 受講料 四千元

テキスト代 四千元

申し込み・問い合わせ先

知多中部広域事務組合消防本部予

防課 ☎(21)1491

危険物取扱者保安講習

講習日など 十月六日(水)・七日

(木)ゆめたろうプラザ(武豊町民

会館)、十月二十六日(火)～二十

九日(金)ウィルあいち(名古屋市)

対象 免状交付者で、危険物製造

所などで取り扱い作業に従事して

いる方(保安監督者も含む)

講習種別 給油取扱所、特定事業

所、一般

受付期間 九月一日～八日

受講料 四千七百元(愛知県収入

証紙を購入し、申請書に張って

ください)

問い合わせ先 愛知県危険物安全

協会連合会 ☎052(961)66

23、知多中部広域事務組合消防

本部予防課 ☎(21)1491

HP <http://www.cac.net.ne.jp/>

chitachu/

お知らせ

敬老会を開催

日時 九月十二日(日)
午後一時半～午後三時半
場所 町勤労福祉センター(工
スベランス丸山)

対象者 七十歳以上の高齢者(昭和十五年十二月三十一日以前に生まれた方)

内容 式典後は、津軽三味線サークル「光絃一座」、愛知県警察防犯活動専門チームのぞみ、阿久比中学校吹奏楽部の皆さんによるアトラクションを開催します。

敬老会当日は会場周辺の道路の混雑が予想されますので気を付けてお越しく下さい。
問い合わせ先 保険課介護保険係
☎(48)1111(内228・290)

全国一斉「高齢者・障害者の人権あらしん相談」強化週間を実施

虐待など、高齢者・障害者の人権にかかわる悩み事、心配事など相談に応じます。相談内容は堅く守られますので、一人で悩まず、気軽に相談してください。

日時 九月六日(月)～九月十二日(日) 平日 午前八時半～午後七時、土曜・日曜日 午前十時～午後五時

相談担当者 人権擁護委員
相談専用電話 ☎052(952)

8200
問い合わせ先 名古屋法務局人権擁護部 ☎052(952)8111(内1470)

「パーキンソン患者・家族教室」「膠原病患者・家族教室」を開催

愛知県半田保健所では、パーキンソン病、膠原病で療養されている方と、家族を対象にした教室を開催します。

パーキンソン患者・家族教室

日時 九月二十八日(火) 午後二時～午後四時
場所 半田保健所四階大会議室(半田市出口町1-45-4)

内容 講話「パーキンソン病と上手につきあうために」病気のこころへの影響
講師 国立長寿医療研究センター 神経内科医師 新畑 豊氏

申し込み・問い合わせ先 半田保健所健康支援課地域保健グループ
☎(21)3341 FAX(24)7142

九月二十一日(火)までに申し込みください。

膠原病患者・家族教室

日時 十月八日(金) 午後二時～午後四時
場所 半田保健所四階大会議室
内容 講話「膠原病とのつきあい方」交流会
講師 藤田保健衛生大学病院
リウマチ・感染症内科医師 加藤賢一氏

申し込み・問い合わせ先 半田保健所健康支援課地域保健グループ
☎(21)3341 FAX(24)7142

九月三十日(木)までに申し込みください。

愛知県障害者委託訓練「クレーンホームヘルパー」二級課程養成コース受講生を募集

日程(訓練期間)

平成二十二年十一月(月)～平成二十三年二月二十八日(月)の毎週(月曜日、火曜日、金曜日)午前九時半～午後四時半(十一月中は土曜日、日曜日訓練有り)

場所 株式会社クレア安心福祉(安城市高棚町東山83)

内容 介護現場に必要な資格を取得し、正しい倫理・知識・技術を身に付けます。

対象 障害者手帳所持者
定員 七人(面接で選考)
受講料 無料。(ただし、テキスト代五千四百円)

申し込み 九月一日(水)～十月六日(水)に半田職業安定所で手続きをしてください。(受講には安定所での求職登録が必要)

問い合わせ先 公共職業安定所 ☎(21)0023、愛知障害者職業能力開発校 ☎0533(93)2102

自衛官を募集

自衛官を次のとおり募集します。

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
防衛大学校学生	・平成23年4月1日現在、18歳以上21歳未満高卒者(見込含)	9月6日～10月1日	1次試験：11月6日・7日 2次試験：12月14日～18日
防衛医科大学校学生	・平成23年4月1日現在、18歳以上21歳未満高卒者(見込含)		1次試験：10月30日・31日 2次試験：12月8日～10日
看護学生	・平成23年4月1日現在、18歳以上24歳未満高卒者(見込含)		1次試験：10月23日 2次試験：11月20日・21日

問い合わせ先

自衛隊愛知地方協力本部半田地域事務所
半田市星崎町3-22-8

☎(21)0004

9月定例議会を開催

平成22年阿久比町議会第3回定例会を次のとおり開催します。

日時 9月2日(木) 午前10時から

問い合わせ先 議会事務局

☎(48)1111(内241)

半田警察署からのお知らせ 悩むより かけて安心 #9110 ~9月11日は「警察相談の日」~

「警察安全相談」ってなに？
犯罪などによる被害を未然に防止するための相談や、県民の生活の安全と平穏に関する相談をいいます。

窓口はどこにあるの？
愛知県警察では、警察安全相談窓口として警察本部と全警察署に「住民コーナー」を設け、皆さんの相談に応じています。

「警察相談の日」ってなに？
全国共通の相談専用電話番号「#9110」(シャープ きゅう いち いち まる)にちなんで、毎年9月11日を「警察相談の日」と定め、警察安全相談の利用促進を図っています。

「#9110」のかけ方は？
家庭の電話(プッシュ回線のみ)や公衆電話、携帯電話、PHSで「110番」の前に「#9」をプッシュすれば、愛知県警察本部の住民コーナー(ただし、愛知県内で発信の場合)にダイレクトにつながります。

なお、ダイヤル回線と一部のIP電話からは「#9110」につながりません。

その場合、「052(953)9110」におかけください。

「#9110」は、いつかけてもいいの？

開設時間は、月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く。)までの午前9時から午後5時までです。

問い合わせ先 半田警察署 ☎(21)9110



相談して安心
半田警察署
マスコットキャラクター

「名古屋国際会議場」について

COP10は、名古屋市熱田区にある名古屋国際会議場で行われます。

期間中は会議会場として、建物全体が国連の管理下のもと、厳重な警備体制が敷かれ、登録者しか入場できません。しかし、隣接する白鳥公園や熱田神宮公園、名古屋学院大学体育館では、一般の方も入場可能な「生物多様性交流フェア」が、毎日行われます。

シリーズ「COP10豆知識」

白鳥公園や熱田神宮公園では、ステージプログラムや国内外の政府、自治体、国際機関、NGOなどによるPRブースが展開されています。名古屋学院大学体育館では成果発表や意見交換、討論を行うフォーラムが開かれます。来場してCOP10を体感してください。

お問い合わせ先 県環境部環境政策課 ☎(052)954 624 6

HP <http://www.pref.aichi.jp/0000017686.html>

公文書公開実施状況

阿久比町情報公開条例に基づく平成二十二年年度の公文書公開実施状況をお知らせします。

- 請求件数 三十六件
- 公開、部分公開、非公開、却下の件数
- 公開 二十六件
- 部分公開 二件
- 非公開 一件
- 却下 七件
- 不服申し立ての件数および処理状況 一件(棄却)
- 問い合わせ先 総務課 ☎(48)1111(内237)

今月の納税など

国民健康保険税	2期分
介護保険料	2期分
後期高齢者医療保険料	3期分
公共下水道事業受益者負担金	2期分

納期限は9月30日(木)です。

阿久比町短歌の会

この世なる春の窓辺の温もりにつし霞むポトスの緑葉
身めぐりに病む人の声満ちてをり一人を叱り一人を励ます
プランターの花の番地を訪ねつつ蝶は花町の郵便屋さん
つばくらめ華奢な身体で広き海如何なる力で飛び越え来しや
会うたびに記憶薄れる母なれどおだしき笑顔で我を迎える
初夏の陽を一ぱい吸いし掛布団白百合の香もそっと運びぬ

久びさに背のびして千才青空に洗濯袂の触れ合う音する
ニケ月も帰って来ない猫ピコさらいし人よ大事にせれたし
やすらぎと自然豊かな阿久比の地新潟出でて第二のふるさと
「朝ボラ」と呼び集ひくる児らに暁の陽光静かに広がりて行く
ひめゆりの語りべ達の暑い夏六十五年も今だ終らず
三日月に赤き金星のりており空に素敵なアクセサリー見る

勝 暁子
桃井 昌子
橋立 智子
三留 享
木村 久世
渡辺百合子

岡本 育与
長坂吉余子
山本ささ子
竹内 清己
山崎 淳子
山口 昇



国勢調査は みんなで描く 日本の自画像

平成22年10月1日 国勢調査を実施します!

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。

平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

9月23日から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。

記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、町へ郵送で提出していただきます。



国勢調査は、日本の未来、地域のまちづくりのための基礎資料になります!

総務省・都道府県・阿久比町

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査e-ガイド」をご覧ください。

国勢調査e-ガイド

検索

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

表紙をリニューアル



表紙のデザインをリニューアルしました。「広報あぐい」が“暮らしの情報誌”となれるように、表紙だけではなく毎号内容を充実させ、町民の皆さんの笑顔や多くの情報を発信していきます。

10月1日からはホームページもリニューアルする予定です。皆さんの知りたい「情報」をより迅速に、分かりやすく伝えていきます。「広報あぐい」、「ホームページ」を日々の生活に役立ててください。



人口と世帯



世帯数	8,819 (+25)	7月中の異動	
人口	25,605人(+25)	出生	17
男	12,686人(+27)	転入	85
女	12,919人(-2)	死亡	18
		転出	59

()は前月との増減数 平成22年8月1日現在

